

箕輪二郎 あしひら 評論家。明治四十年二月、千一白和歌山縣生れ（一九〇七）。昭和五年東京帝國大學法學部卒。外務省入省、文化課長と、
戰後療養生活。

著譯書「白濁文化協定（白濁）について」（蜂谷 耀雄 合著、昭和十四年年）
「市川彦太郎」
月序・外務省文化事業部「國際文化事業パンフレット」、カンパデル
著「ビュータニスムと國際的理解」（譯、昭和二十七年九月十日岩波
書店「岩波現代叢書」）、エラスムス著「平和の訴え」（訳、昭和二十
六年八月五日岩波書店「岩波文庫」）等。